

CASE 08

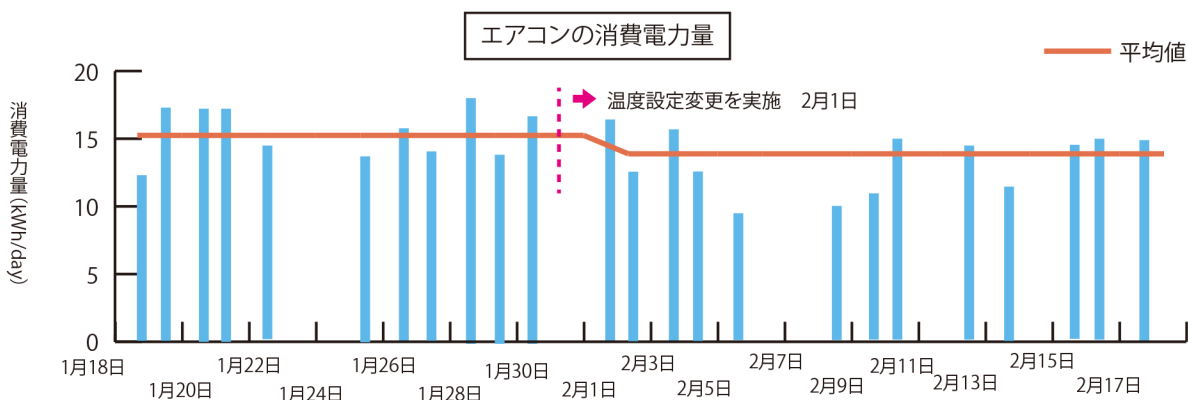
業種：製造業 従業員数：27名
 診断対象施設の用途：事務所・工場
 年間エネルギー使用状況：(原油換算：61.4kL/年)
 ※省エネ診断時に提出のあった資料に基づく

省エネ診断					実施の有無	実施結果		
提案内容	エネルギー種別	エネルギー削減効果		CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /年)		エネルギー削減効果		CO ₂ 削減効果 (t-CO ₂ /年)
		削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)			削減金額 (千円/年)	原油換算 (kL/年)	
① コンプレッサ吐出圧の低減	電力	24	0.23	0.52	×	-	-	-
② 本社工場製版室エアコンの設定温度緩和	電力	22	0.21	0.48	○	9.8	0.093	0.213
③ 事務所照明の消灯管理	電力	9	0.08	0.19	×	-	-	-
④ デマンド監視装置の導入	電力	212	-	-	×	-	-	-



提案②については、製版機からの発熱を用いると、外気平均温度が23℃より低い10～6月はエアコン設定温度を23℃に緩和できるという提案をした。2月1日より実施し、消費電力量を計測した。計測結果を下図グラフに示した。

提案②について、電力使用量を測定し、省エネ前後のエネルギー使用量の変化を調べた。



温度設定の変更前後で約12%の削減を達成した!

エネルギー使用量計測状況 (取組前：約 15.2kWh/日 → 取組後：13.4kWh/日)

